

研究分野	社会福祉思想・原論, 地域福祉論, ソーシャルワークの理論と方法
キーワード	ソーシャルワークの原理と価値, コミュニティ・エンパワメント

# 「新しい公共」を実現する ソーシャルワークの価値と方法について



福祉健康科学部 社会福祉実践コース  
教授 衣笠 一茂 (Kazushige Kinugasa)

## 研究概要

### ①ソーシャルワークの「価値と主体性」に関する研究

「自己決定するものに尊厳がある」という近代社会における人格論を批判しつつ、地域福祉や医療福祉現場において「自己決定」が出来ない人々へのソーシャルワーク援助を対象とした実証研究を行い、「すべての人々の尊厳」を具象化するソーシャルワークの「新たな価値とその主体性のあり方」についての論究を行っている。

### ②小地域レベルにおける「コミュニティ・エンパワメント・スキーム」の技術開発

大分県、大分県社会福祉協議会、また大分県下の市町村および市町村社会福祉協議会との連携を取りながら、住民の持つ可能性と力を引き出す「コミュニティ・エンパワメント・スキーム」の技術開発を行っている。

### ③「コミュニティ・ソーシャルワーク」の技術開発とスーパービジョン

大阪府社会福祉協議会による「生活困窮者レスキュー事業」を基礎として、大阪府下だけでなく、大分県、福岡県、宮崎県や熊本県各県のコミュニティ・ソーシャルワーク実践の技術開発と、そのスーパービジョンを行っている。

### ④少子高齢化社会における家族の変容についての日韓瑞比較研究

経済の低成長とともに、少子高齢化が進展する現代社会において求められる「家族の高齢者扶養機能のあり方」について、日本・韓国・スウェーデンの三カ国による国際比較研究を行っている。

## アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

- \* 2015年度・日本ソーシャルワーク学会「学術奨励賞」受賞
- \* 2016年度・損保ジャパン日本興亜福祉財団「大賞」受賞  
；いずれも著書『ソーシャルワークにおける価値と原理～実践の科学化とその論理構造』（ミネルヴァ書房、2015年）に対して。

## 応用可能な分野

- \* 各種行政計画の策定委員、とくに地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定委員長を多く経験。
- \* 「地域包括ケアシステム」の実際的な展開、とくにコミュニティ・ソーシャルワークと、コミュニティ・エンパワメント・スキームの技術開発と実践展開を得意とする。
- \* 県民・市民の福祉意識の向上に向けて、自立「できない」存在についての主体性や価値の在り方等について、改めて考える講演を数多く行う機会があり、好評を得ている。
- \* 各種専門職団体への研修、講演、シンポジストやパネリストとしての参加多数。